

NY生活クリニック 週刊NY生活 06/2006

カイロと慢性疲労症候群

慢性疲労症候群という病気をご存知ですか？1988年に米国防疫センターが診断基準を発表したこの病気は、その名の通り常に異常な疲れを感じるもので、現在も原因は特定されていませんが、ウィルス感染やアレルギー、免疫、内分泌、代謝の異常によって起きるのでは？と考えられています。このうち免疫や内分泌系の異常がサブラクゼーション(背骨の歪みや変形が中枢神経に悪影響を与え、体調不全を起こすこと)によって起きる可能性があります。実は私がカイロのドクターになったのは慢性疲労症候群をカイロによって治した体験からです。

この病気の診断基準は他の病因が見つからないことを前提とし*異常な疲労感が半年以上続く*微熱や喉の痛み、関節痛、頭痛、リンパ節が腫れて痛むなどの風邪に似た症状*睡眠障害(過眠、不眠)*食欲低下、などが現れます。はじめは風邪をひいたのかなと思います。これらの症状がだらだらと半年以上続いて日常生活に影響が出て来ます。病院で慢性疲労症候群と診断された場合、発熱や関節痛には非ステロイド性抗炎症剤を、精神症状が強い場合は抗鬱剤を処方されますが根本的な治療方法にはなりません。

ただしサブラクゼーションが原因で免疫や内分泌系に機能障害が起きた場合、カイロが効果的なケースがあります。私がこれにあたり、カイロを始めて3ヶ月ほどで効果が現れ始め、約1年後にはほぼ完治しました。